第69回

喜多流涌泉能

高林白牛口二 傘寿記念 三代能

おはなし 馬場あき子

東岸居士 高林呻二

江口 高林白牛口二

千鳥 山本東次郎

車僧 高林昌司

主催 高吟会

平成28年4月9日（土） 午後12時半始

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 電話03-3491-8813

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに

目黒駅下車、徒歩7分

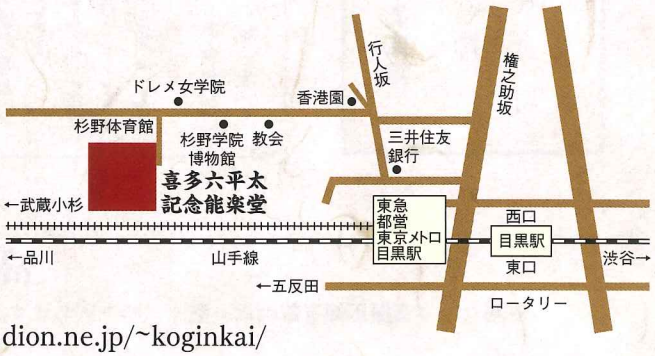
入場料 S席12,000円 A席10,000円

B席 8,000円 全席指定席

問合先 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会

電話075-462-1490 FAX.075-463-3494

E-mail koginkai@f3.dion.ne.jp URL http://www.f3.dion.ne.jp/~koginkai/



動静以天地
視哉涌泉美

鈿之翁

涌泉能番組

おはなし　馬場あき子

東岸居士

高林呻二　宝生欣哉　大倉慶之助　竹市学
間　山本凛太郎　清水和音

休憩二十分

八島

友枝昭世

高林呻二
高林昌司

江口

宝生閑　亀井忠雄　杉市和
則久英志　成田達志
御厨誠吾
間　山本東次郎

休憩二十分

千鳥

山本東次郎　山本凛太郎
山本則孝

休憩十分

車僧

高林昌司
殿田謙吉　亀井広忠　小寺真佐人
大倉源次郎　杉信太朗
間　山本泰太郎

「能」の秘密（その三）

前の二編で「能」の起源と「翁」の役割を述べました。今回は「能」の究極を述べます。

第一編で述べた「信の神」に対して、感謝と報恩の心を伝えるためには、肉体としての身体条件も精神条件も厳しさが要求されます。歯を食い縛ったり、顔の筋肉を硬直させたりしてはいけません。いくら表面を見繕っても「信の神」は全てをお見通しなのです。呼吸を自然に穏やかにし、身体も和やかにしなくてはなりません。但しこれは弛緩ではありません。眼光は瞬きを忘れる程に穏やかにして、千里の先を見詰めます。身体中の筋肉も硬直とは懸け離れて、適度な緊張を保っています。

この適度な緊張感を会得することが、一番大切な「能」の修行なのです。この精神と肉体の安泰状態は、丁度禅僧が座禅をしている時と同じ次元なのです。このような状態になれば、発声も異なってきます。咽喉・舌・唇等に力が入ってはいけません。息も短くなり声も通らなくなり、謡うと云う心になりません。精神の安泰を会得して、それを持続して保つ事が出来るようになって、漸く神前の奉納が、即ち「能」を舞うことが可能となります。この究極の精神状態から生じるものが、見る人に芸術の爆発となって伝わり、忘れることの出来ない感動を与える結果となるのです。

観客は「信の神」の代理者です。見せてやるなんて心は毛頭不必要です。究極の「能」は自分との戦いです。この戦いは装束を着る準備の時から始まり、装束を脱ぐまで一貫しての精神力の充実が勝利となります。

私も能の家に生まれ来て、ついに八十年を越えてしまいました。この年月の間に会得したものを次世代の者達に間違いなく伝えて行くことも、この「能」の世界に生きてきた者の務めと感じて、この一文を書き上げました。

最後に一言「能」は絶えることはありません。しかし関わる者全員が、真剣に無限の努力をする必要があります。

（この稿　完）

平成二十八年十一月十二日（土）　大江能楽堂

次回予告

百忠万度　高林呻二　高林昌司

主催
高吟会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話　ポケットベル　時計のアラームは、予めお切り下さい。